

「メディカル ジャパン」を活用した 関西のポテンシャル発信に関する結果報告について

平成28年3月5日
広域産業振興局

国内外に広く関西のポテンシャルを発信し、内外における関西の認知度・存在感の向上を図ることで、域内関連産業の振興及び域内への投資、企業立地の促進につなげるため、下記のとおり民間主催の医療総合展「メディカル ジャパン」において、ブース出展及びセミナーを行いました。

記

1 「メディカル ジャパン 2016 大阪」の概要

- ・主 催 リード エグジビション ジャパン株式会社
- ・特別協力 関西広域連合
- ・会 期 平成28年2月24日（水）～26日（金）（3日間）
- ・会 場 インテックス大阪（1～6号館）
- ・出展社数 963社
- ・来場者数 26,768名

2 結果報告

（1）オープニングセレモニー（2月24日（水）9:50～10:10）

松井広域産業振興担当委員、竹山広域産業振興副担当委員、関西広域連合議会から尾形防災医療常任委員長が出席。主催者に続き、関西広域連合を代表して松井担当委員が挨拶を行い、その後、46名の来賓によるテープカットが行なわれた。

なお、2月25日には、井戸連合長も視察に訪れた。

オープニングセレモニーの様子

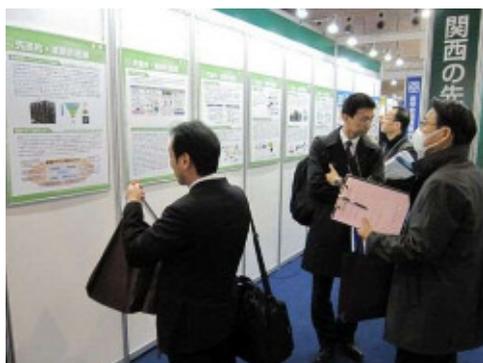


（2）関西広域連合ブースの出展

関西広域連合の紹介（産業振興局の取組、関西健康・医療創生会議、ドクターヘリなど）及び関西のバイオの強み・ポテンシャル、先進的・革新的な取組、産学官連携の事例などについて、映像やパネル、パンフレットに加え、製品・試作品の実物展示によりわかりやすく紹介した。

開催期間中、ブースには、3,188名が来場。ブース内ミニセミナーでは、特区の取組紹介、医療機器分野参入促進、関西の科学技術基盤などのテーマで26本実施し、延べ655名が聴講した。また、医療機器相談コーナーでは23件の相談があった。

関西広域連合出展ブース概観



(3) 研究成果企業化促進セミナーの実施

産学官連携の促進や医療機器分野への参入促進を目的に、6箇所の特設会場にて実施。大学や研究機関が企業とのマッチングを希望する46本の研究成果が発表され、延べ2,115名が聴講した。

研究成果企業化促進セミナーの様子



(4) 関連事業

○ アフターコンベンションの実施（主催：リード エグジビション ジャパン㈱ 協力：関西広域連合）

関西の優れた研究機関等を訪問するアフターコンベンションが実施された。

関西広域連合は、特別協力の立場から主催者に対し視察先候補を紹介し、京都大学 iPS 細胞研究所、神戸医療産業都市、理化学研究所計算科学研究機構、理化学研究所生命システム研究センター、公益財団法人先端医療振興財団、理化学研究所多細胞システム形成研究センター、医薬基盤・健康・栄養研究所、SPRING-8/SACLA を訪問する6コースのツアーが行われ、合計144名が参加された。